

ISSN-1348-8872

AMAMI News Letter

NO.30

<2006年度 春季号>



■特集:世界自然遺産と持続可能な発展 —「奄美の『島』コスモス創出事業」シンポジウム—

ゲスト対談:世界自然遺産と環境政策

パネル討論:奄美社会からの声

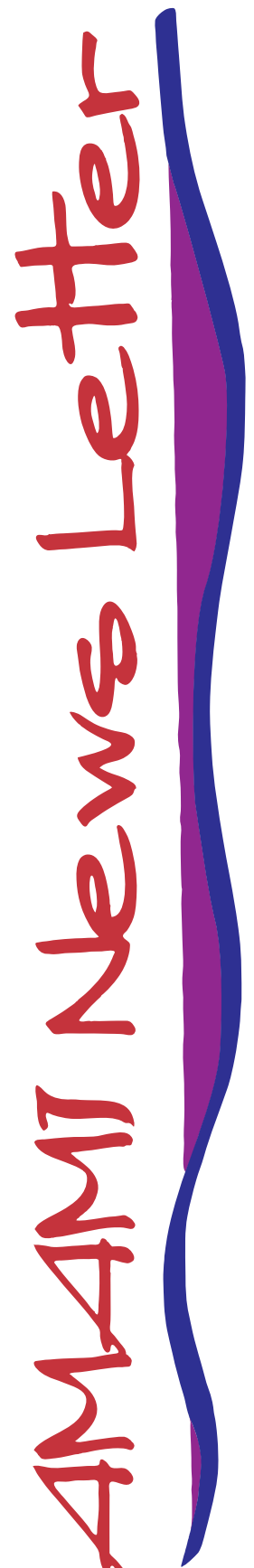
イベント「世界自然遺産と持続可能な発展」が発したメッセージ

■ **Feature:**

Symposium - World Natural Heritage and Sustainable Development

- 1 Talk: World Natural Heritage and Environmental Policy
Onodera Hiroshi (Special-appointment Professor, Kagoshima University)
Yōrō Takeshi (Professor emeritus, Tokyo University)
Yamada Makoto (LEH)
- 24 Panel Discussion: Community Voices from Amami
- 41 The significance of registration as a World Natural Heritage site and Sustainable Development
Yamada Makoto (LEH)

■ **Information**



奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のグランドデザイン----南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、2005年11月に発刊された24号まで、月刊でしたが、2006年1月発刊の25号からは、発行責任を奄美委員会が担うことになり、1年間計4号を季刊で発刊することになりました。
- 奄美ニューズレターは、25号から季刊の学術雑誌となり、下記の内容を掲載いたします。
 - ・研究調査レビュー 鹿児島大学所属の研究者からの成果発表
 - ・しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
 - ・島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文
 - ・鹿大資料紹介 鹿児島大学所蔵奄美資料の紹介
 - ・ちーびし 執筆者紹介、奄美関連の行事案内、編集後記
- 企画と編集を担当する奄美委員会のメンバーは、下記のとおりです。

奄美委員会

研究科長	木部	暢子		
奄美サテライト特任教授	井上	晃男		
奄美委員会委員長	山田	誠		
法政策学科選出委員	飯田	泰雄	永野	司
経済情報学科選出委員	皆村	武一	山田	誠 山本 一哉
人文学科選出委員	桑原	季雄	西村	明

目次

■特集：世界自然遺産と持続可能な発展 ー「奄美の『島』コスモス創出事業」シンポジウムー

ゲスト対談：世界自然遺産と環境政策—————1

特別ゲスト：小野寺 浩（鹿児島大学特任教授・
前環境省自然保護局長）

養老 孟司（東京大学名誉教授）

司会：山田 誠（鹿児島大学法文学部・
「奄美の『島』コスモス創出事業」代表）

パネル討論：奄美社会からの声 —————24

パネラー：阿部 慎太郎（野生生物保護センター）

浜田 太（写真家）

蘭 博明（環境ネットワーク奄美代表）

前田 芳之（動植物の観察専門家）

花井 恒三（奄美市企画部長）

司会：根建 心具（鹿児島大学教授・教育センター長）

イベント「世界自然遺産と持続可能な発展」
が発したメッセージ—————41

山田 誠（鹿児島大学法文学部・

「奄美の『島』コスモス創出事業」代表）

■ちーびし—————46